

# とちぎの子どもの学力・学習の状況

平成22年度全国学力・学習状況調査の結果から

平成22年11月  
栃木県教育委員会

## ■ 教科に関する調査の結果から

(数値は平均正答率95%の信頼区間)

小学校第6学年			中学校第3学年		
教科	栃木県	全国	教科	栃木県	全国
国語A	82.2－83.6%	83.2－83.5%	国語A	74.2－75.5%	75.0－75.2%
国語B	76.3－78.2%	77.7－78.0%	国語B	64.9－66.6%	65.1－65.5%
算数A	73.8－75.7%	74.0－74.4%	数学A	62.6－65.0%	64.4－64.8%
算数B	48.0－50.0%	49.1－49.5%	数学B	41.4－44.1%	43.1－43.5%

※平均正答率の95%信頼区間とは、全員を対象とした調査を行った場合に、95%の確率で平均正答率が含まれる範囲。

- 平均正答率95%の信頼区間でみた全国の結果と比較すると、ほぼ同程度であるといえます。
- 学習指導要領の領域別にみた集計結果によると、全体的に見て、全国平均を下回っている領域が多く、小学校国語B、中学校数学A・Bでは、すべての領域において全国平均を下回る結果でした。基礎・基本の習得が十分でなく、そのことがB問題の結果にも影響していることが伺えます。
- 個々の問題に着目すると、説明したり表現したりする問題は平均正答率が低い傾向が見られ、これらの問題は、同時に無解答率が高い傾向にあります。

## ■ 質問紙調査の結果から

### 児童生徒質問紙の回答から

- 将来に夢や目標をもち、前向きに日常生活を送っています。
- 学校の決まりや友だちとの約束を守って生活しています。
- 家庭では、予習・復習を中心に苦手な教科にも取り組んでいます。

### 学校質問紙の回答から

- 学習規律の維持を徹底させ、落ち着いた授業を行っています。
- 授業で身に付けさせたい力（調べ方や資料を使った発表の仕方等）を十分指導しています。
- 家庭学習の取組に積極的にかかわっています。

- 全国と比較すると、児童生徒の学習・生活習慣や学校の取組により傾向が見られました。

## 課題

児童生徒のよい傾向や学校の意欲的な取組が、  
必ずしも学力の向上に結び付いていない状況が見られます。

課題の解決には、日々の学習指導において、知識・技能の確実な習得や思考力・判断力・表現力等の育成を図る指導を一層充実させることが必要です。

# 課題の見られる問題と改善のポイントについて ～ 国語編～

## ■課題の見られる問題

【小学校国語 A4】 メモを基にして、児童会だよりの中に入る適切な内容を書く（書くこと 短答式）

平均正答率58.9% (60.3%) \* ( )内は全国平均正答率

【中学校国語 A4】二 一文を二文に分けて書く（書くこと 短答式）

平均正答率38.8% (41.4%)

4

児童会の代表委員の石橋さんたちは、運動会について伝えたいことを、昨年の反省をもとに「メモ」に取ったあと、児童会だよりに書きました。「児童会だよりの一部」の②の中に、ふさわしい内容を書き加えてください。

【メモ】

（運動会について伝えたいこと）

～ 昨年の反省から ～

- ◆ 運動会の前に体調をくずした人がいた。
- ◆ 健康に気をつける。
- ◆ 開会式の集合時、早くに行動する。

【児童会だよりの一部】

児童会だより 第2号 四月二十七日発行

もうすぐ運動会！

全校のみみなさんが楽しみにしている運動会が近づいてきました。昨年の反省を生かして、次のことに注意しましょう。

① 運動会の前に体調をくずさないように、健康に気をつけること。

② 早くに行動すること。

ア

4

松本さんの学級では、新入生に向けて、これからの学校生活の参考となるように、「今、夢中になっていること」という題で文章を書くことになりました。次は、「松本さんが書いた下書き」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【松本さんが書いた下書き】

今、夢中になっていること、それは部活動です。

中学校に入学して、始めて吹奏楽部の生の演奏を聞いたとき、体中に響いてくる音の迫力に圧倒されました。そして、迷わず吹奏楽部に入学しました。その後、私の担当はフルートに決まりました。それからは、自分でも驚くほどフルートに夢中になっていきました。

先日、そばで聞いていた友達から「うまくなったね。」と言いました。そのとき、音が出るまで苦労したけれど、あきらめずに続けていてよかったと思いました。

今、私たちは全国大会出場に向けて練習していて、三年生にとって最大の目標です。皆さんも中学校生活の中で、自分が全力で打ち込めることを探してみてください。きっと毎日楽しく充実したものになるはずです。

二

一 縦部「今、私たちは全国大会出場に向けて練習していて、三年生にとって最大の目標です。」には二つの内容が含まれています。意味を変えずに二つの文に分けて書きなさい。なお、二文には「目標です」に対応する主語を補いなさい。

## ■課題

- ・ 文と文との意味のつながりを理解し、文の構成を考えて書くこと
- ・ 与えられた条件に応じ、主語と述語との関係に注意して分かりやすい文章に書き直すこと

## ■改善のポイント

文の構成や文と文との意味のつながりに注意し、分かりやすい文や文章を書く力を身に付けさせるためには、次に示すような活動を取り入れていくことが大切です。

### 複数の文を一文にまとめる

(例) 調査報告文を書く際に、資料の中から報告する箇所を選び、文と文との意味のつながりを考えながら、一文に要約する。

### 一文を二文に書き分ける

(例) 一文が長くなることで意味が分かりにくくなる事例を取り上げ、複数の文に分けて書く。

### 「とちぎの子どもの基礎・基本」との関連

主語、述語、修飾語等の文法事項の定着については、平成21年度「とちぎの子どもの基礎・基本」習得状況調査において課題が見られました。

分かりやすい文を書く力を身に付けさせるためには、「とちぎの子どもの基礎・基本」の〔主語・述語の照応関係（小学校第2学年）〕を確実に理解させるとともに、「読むこと」の学習でも文中の主語と述語を確認させる学習活動を取り入れるとよいでしょう。

また、小学校から、字数制限等の条件に従い適切に書かせる指導を取り入れていきましょう。

## ■課題の見られる問題

【中学校国語 A9二 小学生に向けた案内文となるように適切な文を書く（書くこと 短答式）】

平均正答率58.5% (60.9%)

【案内文B】（第二小学校の5・6年生に向けて作成しているもの）

平成22年4月20日

第二小学校5・6年生のみなさん  
第一中学校生徒会

地域清掃活動のお願い

新学期が始まって2週間がたちました。みなさん、元気ががんばっていますか。

さて、第一中学校では、次のとおり、第二小学校のみなさんといっしょに地域のそうじをしたいと思います。

~~~~~

1. 〔字〕 5月16日（日）午前8時から午前10時  
2. 〔字〕 第二小学校と第一中学校の周辺  
3. 内容 ゴミ拾いや草取り  
4. その他 第一中学校正門前に集まってください。  
そうじ用具は、当日配ります。  
雨がふった場合は中止にします。

【案内文A】（地域の方々に向けて作成しているもの）

平成22年4月20日

地域の皆様  
第一中学校生徒会

地域清掃活動のお願い

春風のさわやかな季節になりました。皆様、いかがお過ごしですか。

さて、第一中学校では、第二小学校にも呼びかけて、下記のとおり、地域清掃を行います。

ご多用のことと思いますが、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 〔字〕 5月16日（日）午前8時から午前10時  
2. 〔字〕 第二小学校及び第一中学校周辺  
3. 内容 ゴミ拾いや草取り  
4. その他 第一中学校正門前にお集まりください。  
清掃用具は、当日お配りします。  
雨天の場合は中止にします。

二  
「案内文B」は、小学生に  
向けて書いています。「案内  
文A」を参考にして、案内  
に入る一文を書きなさい。

## ■課題

- ・ 与えられた条件に応じ、敬語を適切に用いて表現すること

## ■改善のポイント

相手に応じて、伝えるべき事柄を簡潔に分かりやすく書く力を身に付けさせるためには、次に示すような活動を取り入れていくことが大切です。

案内文などの実用的な文章の形式について理解させるとともに、

**相手や目的に応じて適切に書かれているかどうか見直す**

実際に案内文を書く際に伝える相手を意識させるのはもちろんですが、書いた文章を見直させ、相手に応じた表現になっているか、相手に行事等の概要が伝わるかどうか、読みやすく分かりやすい文章になっているかなど、ポイントを示して検討させるとよいでしょう。

（例）相手に応じた適切な言葉遣いになっているかという観点から、作成した案内文を読み返し修正する。

〈地域の方に向けた学校祭の案内文として適切な表現を考える〉

△ 私たちの合唱の発表を聞いてください。

↓

○ 私たちの合唱の発表をお聞きになってください。

## 「とちぎの子ども基礎・基本」との関連

相手に応じた適切な言葉遣いを用いて文を書く力を身に付けさせるためには、「とちぎの子ども基礎・基本」の「よく使われる敬語の使い方（小学校第5学年）」、「敬語を社会生活の中で正しく使うこと（中学校第3学年）」を確実に理解させることが重要です。

# 課題の見られる問題

【中学校国語 B1】二 トップ記事とコラムとを比較し、書き方の特徴として適切なものを選択する  
(読むこと、選択式)

平均正答率49.3% (48.9%)

1 12版 第220420号
全国新聞
2009年(平成21年)6月20日(土曜日) (日刊)

### 「食育」の広がる

「食育の日」という取り組みが全国の小学校に広がっている。香川県のある小学校では、6年生の児童が、年5回自分たちだけで作った弁当を食べている。ここでわが国は、子どもの「自立」、自分の食生活を自分で作ることを通じて、

### 食育の思いを育てる

「食育の日」に合わせ、全国的に見ると、学校給食に地域産の食材を積極的に取り入れたり、伝統的な郷土料理を献立に盛り込んだりしている。これらは地域の産業に対する理解を促し、伝統的な食文化を継承し、

## 今も色あせない魅力 太宰治生誕100年

「走れメロス」一入間失格などの作品を残した作家・太宰治(1909〜48)が、昨日19日で行われた生誕100年を記念した各地で様々な催しが行われる中、太宰府の地、東京都三鷹市には、全国から多くのファンが訪れ、何年たっても色あせない太宰の魅力が改めて浮き彫りになった。 (関連記事20面)

「走れメロス」一入間失格などの作品を残した作家・太宰治(1909〜48)が、昨日19日で行われた生誕100年を記念した各地で様々な催しが行われる中、太宰府の地、東京都三鷹市には、全国から多くのファンが訪れ、何年たっても色あせない太宰の魅力が改めて浮き彫りになった。 (関連記事20面)

名したのは太宰と同郷作家・今宮。太宰の作品「桜桃」にちなんで付けたとされ、今年で61回目を迎えた。太宰にゆかりのある各地には、今年も多くのファンが集まった。友人と一緒に太宰の墓のある神林寺(三鷹市下連雀)を訪れた千葉県の会社員(33)は「中学生のときに『走れメロス』を読んで以来の太宰ファン。弱さを隠さない純粋さが最大の魅力。今もなお新しい発見がある」と語った。

太宰が亡くなったのは、彼の39歳の誕生日でものが発見された48。あり、その命日は桜桃(昭和23)年6月19日は「三」と呼ばれている。命

## 全国新聞

2009年(平成21年)6月20日(土曜日) (日刊)

4面 7面 9・11面 16面 20面 26・27面

政治 国際 経済 スポーツ 文化 地域

2009年(平成21年) 6月20日 土曜日

太宰が晩年を過ごした三鷹市では、昨年3月、太宰が通った伊勢元酒店の跡地に「太宰治文学サロン」を開設した。「このサロンは展示された資料を見るだけではなく、訪れた太宰ファンが様々な情報や自分の思いを語り合える交流の場にもなっている」と関係者は語る。

今日は、18日までに延べ2485人が来館。昨日は1779人が訪れ、1日当たりの来館者数としては過去最高を記録した。サロンを訪れた京都府に住む大学3年生(21)は「ここで初めて出会った人と太宰の話で盛り上がった。外国人の太宰ファンも来ていて驚いた。また来たい」と笑顔で話した。

### コラム

最近、文学作品を身近に感じさせる動きが盛んだ。文庫本のカバー一つ一つを、人気漫画家によるイラストや、芸能人の写真がデザインされているものがあり、文学ファンでなくても思わず手に取りたくなる。横書きで書かれた小説や電子書籍の売れ行きも好調である。今に始まったことではないが、いわゆる名作を漫画化したものが売れている現実も見逃せない。▼こうした動きは、特に若い世代に向け、文学作品との新しいかわかり方を提案していると言っている。作者や内容にひかれるもよし、本のカバーにひかれるもよし、出会い方は自由であってよい。本の魅力を知る機会を得ることが大切なのだ。▼文学作品との出会い方や味わい方が多様化しても、本に描かれた世界を通して自分なりの価値を発見したり、新たな自分を創造したりしていくことに変わりはない。▼来年は国民読書年。本を手にする若い世代を大いに歓迎したい。

## 課題

- 記事文における表現の仕方をとらえること

## 改善のポイント

### 「とちぎの子どもの基礎・基本」との関連

「とちぎの子どもの基礎・基本」で示している〔複数の文章を比較し、構成や論理の展開などの共通点や相違点をとらえることができる(中学校第3学年)〕力を身に付けさせましょう。

そのためには、日ごろから多様な文章に触れさせることで、その特徴に気付かせることが大切です。

言語活動例「論説や報道に盛り込まれた情報を比較して読むこと」にもあるように、

**複数の文章の書き方を比較する**

ことを取り入れていきましょう。

(例)・教科書教材の文章だけではなく、新聞や広告、パンフレットやポスター等、様々な形態の文章の形式を読み比べる。

- 文章を読んだ上で、自分の考えをまとめたり、学んだ書き方等を踏まえて実際に書いてみたりする。




- この紙面のトップ記事「今も色あせない魅力 太宰治生誕100年」と「コラム」との書き方の違いを説明したものと最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
  - トップ記事は結果を示してからその背景や原因を書いているが、コラムは時間の経過に沿って順番に書いている。
  - トップ記事は事実を中心に各観的に書いているが、コラムは事実だけでなく書き手の意見や感想も交えて書いている。
  - トップ記事は最新の出来事取材した上で書いているが、コラムは過去の情景を的確に描写しながら書いている。
- 4 トップ記事は様々な事柄を示してから結論を書いているが、コラムは結論を述べてからその根拠となる事柄を書いている。

## 課題の見られる問題と改善のポイントについて ～算数・数学編～

### ■課題の見られる問題

【小学校算数 B5(2) 割引券を使うと値引きされる金額が最も大きくなる商品を選び、そのわけを書く (第5学年 数量関係、記述式)】 平均正答率16.4% (17.1%) \* ( )内は全国平均正答率  
〈「ウ(くつ)」を選べた児童は、77.3% (77.8%)〉

(2) ひろしさんは、下のような定価で売られているシャツ、ズボン、くつを1品ずつ買います。

|                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| ア                                                                                 | イ                                                                                 | ウ                                                                                 |
|  |  |  |
| シャツ<br>定価 1900円                                                                   | ズボン<br>定価 3900円                                                                   | くつ<br>定価 5800円                                                                    |

ひろしさんは、右の図のような割引券を1枚持っています。その割引券には、「1品に限り、定価の20%引き」と書かれています。

**割引券**

1品に限り、  
定価の20%引き

シャツ、ズボン、くつのうち、どれに割引券を使うと、値引きされる金額がいちばん大きくなりますか。

上のアからウまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。また、その記号の商品に割引券を使うと、値引きされる金額がいちばん大きくなるわけを、言葉や式を使って書きましょう。

### ■課題

- ・ 基準量、比較量、割合の関係をもとに判断し、その理由を説明すること

本調査の「主として『活用』に関する問題(B問題)」で出題されている記述式の問題では、毎年課題が見られます。特に、割合に関する問題や理由を記述する問題の平均正答率は低くなっています。

### ■改善のポイント

割合の考えをもとに、数の大小を判断し、その理由を説明できるようにさせるためには、次に示すような活動を取り入れていくことが大切です。

#### もとにする量(基準量)、比べられる量(比較量)、割合の関係を理解する

- (例)・ (比べられる量) = (もとにする量) × (割合) で求められることを確認する。
- ・ 「値引きされる金額」が比べられる量、「定価」がもとにする量であることを確認する。
  - ・ 割合が一定であることから、「定価」の大小から「値引きされる金額」の大小が比較できることを言葉で説明する。

#### 判断した理由を数学的に表現する

- (例)・ 割合の考えをもとにして、言葉による理由の説明を考え、伝え合う。
- ・ 定価が高いほど値引きされる金額が大きくなることを図や式で表す。
  - ・ 理由を説明するために必要な事柄を整理してノートに書く。

### 「とちぎの子ども基礎・基本」との関連

「単位量あたりの大きさを求め、比べること」については、平成21年度「とちぎの子ども基礎・基本」習得状況調査においても課題が見られました。

2つ以上の数量の関係をとらえるためには、「とちぎの子ども基礎・基本」の〔百分率(%)を用いて表すこと(小学校第5学年)〕や〔□=2×△などの式で表される数量の関係(小学校第5学年)〕を身に付けさせることが大切です。指導に当たっては、テープ図や線分図、数直線の長さを比べる活動や、言葉の式を用いて表す活動を取り入れましょう。

また、判断した理由を数学的に表現するためには、筋道立てて言葉で伝え合う活動を取り入れるとともに、数学的な表現方法を用い、整理して書く活動を充実させていきましょう。

## ■課題の見られる問題

中学校数学Aの「数と式」の領域については、以下のような問題において、課題が見られました。

- 【A2】(2) 210aで表される事象を選ぶ(第1学年 選択式) 平均正答率72.3%(74.5%)  
 【A2】(4) 2けたの自然数を表す式を選ぶ(第2学年 選択式) 平均正答率65.0%(65.9%)  
 【A2】(5) 等式 $2x+y=5$ を $y$ について解く(第2学年 記述式) 平均正答率69.5%(72.1%)  
 【A3】(2)  $(x+1)/5=2$ を解く(第2学年 記述式) 平均正答率55.6%(58.1%)〈無解答率16.1%〉

- 2 (2) 答えが210aで表される問題を、下のAからEまでの中から1つ選びなさい。
- ア 砂糖を  $a$  kg 買って、210円払いました。  
この砂糖1kgの値段はいくらでしょう。
- イ 210kgの大豆を  $a$  kg ずつ袋につめます。  
大豆を全部つめるには、袋はいくついるでしょう。
- ウ 1mの値段が210円のリボンを  $a$  m 買いました。  
リボンの代金はいくらでしょう。
- エ 赤いテープの長さは210cmです。  
赤いテープの長さは白いテープの長さの  $a$  倍です。  
白いテープの長さは何cmでしょう。
- (4) 2けたの自然数の十の位の数を  $x$ 、一の位の数を  $y$  とするとき、その2けたの自然数を表す式を、下のAからEまでの中から1つ選びなさい。
- ア  $xy$
- イ  $x+y$
- ウ  $10xy$
- エ  $10x+y$
- (5) 等式  $2x+y=5$  を、 $y$  について解きなさい。
- 3 (2) 一次方程式  $\frac{x+1}{5}=2$  を解きなさい。

## ■課題

- ・ 文字を用いて数量の関係を式に表現したり、式の意味を読み取ったりすること
- ・ 文字を用いた式の計算をすること

中学校数学Aの「数と式」領域については、毎年、全国の平均正答率を下回っています。意味を読み取る問題や複雑な計算問題においては、全国と比較しても平均正答率が低く、無解答率も高くなっています。

## ■改善のポイント

文字を用いた式を理解させたり、式の計算ができるようにさせたりするためには、次に示すような活動を取り入れていくことが大切です。

### 文字式で表したり、文字式の意味を読み取ったりする

- (例)・ 具体的な数や言葉で表された式を利用して数量の関係をとらえる。  
 ・ 2(4)では、例えば24を「 $24=20+4=10\times 2+4$ 」として文字に置き換えて確認する。

### 等式の性質を用いて式を変形する

- (例)・ 具体的な場面で目的に応じて式を変形したり、数に置き換えて、等式の性質を確認したりする。  
 ・ 小数や分数を含む方程式では、等式の性質に基づいて解く過程を振り返る。

### 「とちぎの子どもの基礎・基本」との関連

平成21年度「とちぎの子どもの基礎・基本」習得状況調査においても「文字式の意味を理解し、基本的な計算をすること」や「等式を目的にあった式に変形すること」に課題が見られました。

文字や文字式を指導する際には、「とちぎの子どもの基礎・基本」で示した「 $\square=2\times\triangle$ などの式で表される数量の関係(小学校第5学年)」や「文字  $a, x$  を用いて式に表す(小学校第6学年)」等、小学校での学習内容に配慮する必要があります。文字に対する抵抗感を和らげるためには、必要に応じて言葉の式や、 $\square, \triangle$ などを用いた式に表してその意味を読み取ったり、数を当てはめて調べたりするなど、段階を踏みながら指導することが大切です。

また、文字式の計算や式の変形においては、単に手順を覚えさせるのではなく、その意味や目的を明らかにして、理解を深めさせていきましょう。

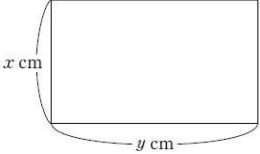
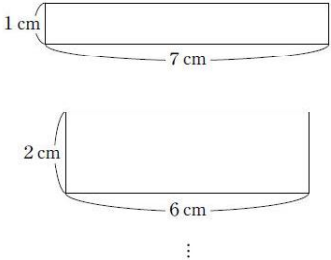
## ■課題の見られる問題

【中学校数学 A11(3) 16cmのひもでつくった長方形の横の長さ( $y$ )を縦の長さ( $x$ )で表す (第2学年数量関係、短答式)】 平均正答率19.7% (22.9%) 〈無解答率29.6%〉

(H19小A7(3)「縦の長さが1cm増えた際の横の長さの変化を答える」平均正答率69.7%(75.1%)

(3) 長さ16cmのひもを使って、いろいろな形の長方形を作ります。長方形の縦の長さを $x$ cm、横の長さを $y$ cmとすると、 $y$ を $x$ の式で表しなさい。

長方形の縦の長さを $x$ cm、横の長さを $y$ cmとすると、 $y$ を $x$ の式で表しなさい。



## ■課題

- 具体的な事象における一次関数の関係を式で表すこと

平成19年度小学校算数Aで出題された、縦の長さ $x$ と横の長さ $y$ の関係を表す表を作成させてから変化の様子を答えさせる問題に比べ、 $y$ を $x$ の式で表すことを直接答えさせる今回の問題の平均正答率は低く、無解答率は高くなっています。

## ■改善のポイント

2つの数量の関係をとらえ、課題を解決する方法を身に付けさせるためには、次に示すような活動を取り入れていくことが大切です。

### 変化や対応の様子を調べる

- (例)・ 問題の場面を図に表したり、数量の関係を表に表したりして、変化や対応の様子を調べる。
- 縦の長さを1cmずつ長くしたときの横の長さを表に表しながら、 $x$ の値が与えられたときに $y$ の値をどのように求めればよいのか考える。

### 2つの数量の関係を式に表す

- (例)・ 図や表をもとに考えた式を言葉の式で表す。「(縦の長さ) + (横の長さ) = 8cm」等
- 言葉の式をもとに、 $x$ 、 $y$ 等の文字を用いた式で表す。

## 「とちぎの子どもの基礎・基本」との関連

平成21年度「とちぎの子どもの基礎・基本」習得状況調査において中学校第1学年で出題した「縦が $a$ cm、横が $b$ cmの長方形の周りの長さ」を表す式を選ぶ問題では平均正答率51.1%であり、課題が見られました。

2つの数量の関係を式に表すためには、変化や対応の様子を調べたり、考察したりすることが必要です。

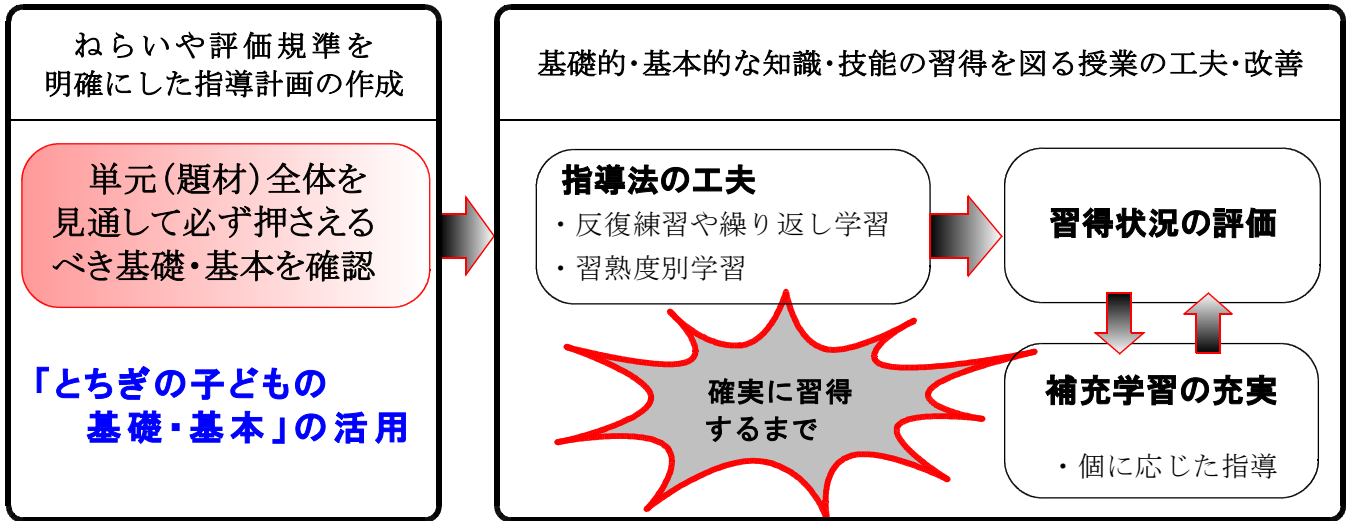
「習得状況調査の結果と授業改善のポイント」の中でも示していますが、数量関係をとらえ、式に表すためには、問題を読んで、すぐに式で解決しようとするのではなく、具体的な場面に当てはめながら、事柄や関係を式に表すことが大切です。「とちぎの子どもの基礎・基本」で示した、「関数関係を見いだす」ことや「表、式、グラフで表したり、読み取ったりする」ことを小学校段階から系統的に指導していきましょう。

# とちぎの子どもの「確かな学力」の向上のための2つの提案

## 提案1 「とちぎの子どもの基礎・基本」を活用しましょう。

確かな学力の向上のため、その学年で身に付けるべき基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させることが大切です。

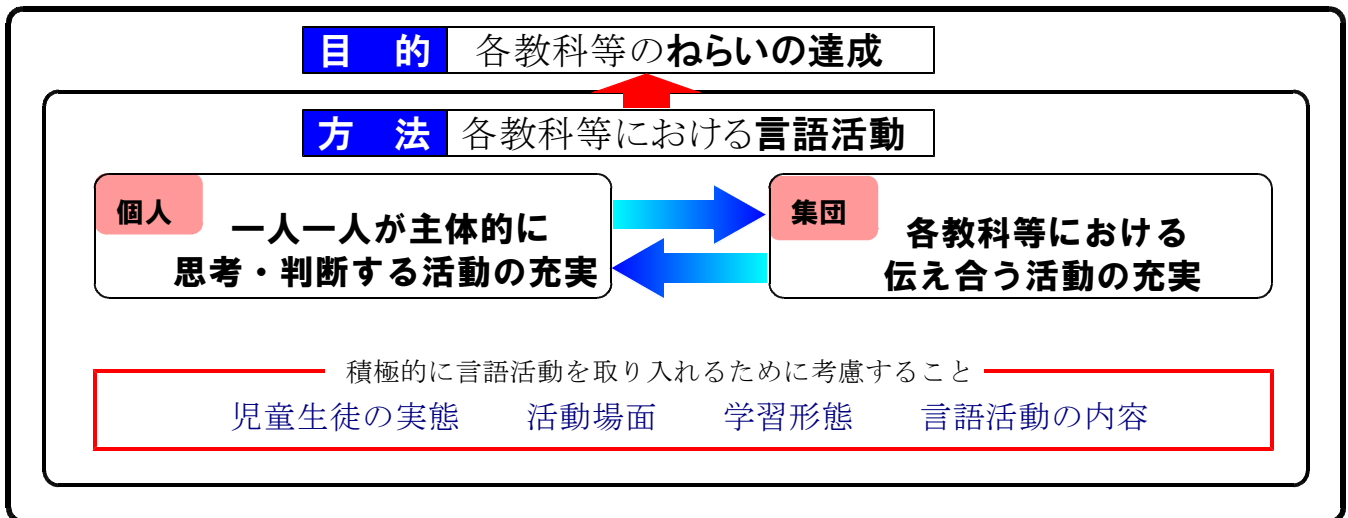
- 指導計画で： 各教科等の単元(題材)全体を見通して、押さえるべき「基礎・基本」の指導の重点化を図る。
- 授業の中で： 基礎・基本の習得状況の評価を計画的に実施し、課題が見られる学習内容について補充指導を行う。



## 提案2 言語活動を通じて思考力・判断力・表現力等の育成を図る授業を行いましょう。

各教科等のねらいを達成させるため、発達の段階を考慮しながら、各教科等の特徴に応じ、単元(題材)を見通して言語活動を計画的に位置付け、授業の中で具現化することが大切です。

- 指導計画で： 習得した知識・技能を活用して、新たな問題について考えさせる学習を意図的・計画的に位置付けるとともに、問題の解決に当たって効果的な言語活動を取り入れる。
- 授業の中で： 個人で思考・判断する活動や言語活動を通じた集団での学び合いを充実させるとともに、個人や集団への教師のかかわり方を工夫する。



「とちぎの子どもの基礎・基本」(平成22年度版)は、「問題事例集」「習得状況調査」とともに栃木県教育委員会ホームページ (<http://www.pref.tochigi.lg.jp/education/gakkoukyouiku/shidoushiryou/>) に掲載しています。